

# 第19回 通常社員総会

## 議 案 書

月 日 令和2年6月2日（火）

場 所 NPO 法人シーズネット研修室

時 間 13時30分～



NPO 法人 シーズネット

## 総会次第

1. 開 会

2. 資 格 審 査 報 告

3. 議 長 選 出

4. 議事録署名人選出

5. 議 事

第1号議案 令和1年度事業報告について

第2号議案 令和1年度決算報告について

第3号議案 令和1年度の監査結果について

第4号議案 令和2度事業計画書(案)について

第5号議案 令和2度活動予算書(案)について

第6号議案 定款変更(案)について

6. その他

7. 閉 会

## 令和1年度事業報告書 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

### 1. 理念・方針

理 念	高齢者自身の主体的かつ創造的な生き方を目指すための活動として「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」「支え合い」をキーワードにした事業を行い、豊かな高齢社会の推進に寄与する
方 針	認定NPO法人としてレベルアップを図り、会の存在意義であるシニアがはつらつと活動するための新しい取り組みへのチャレンジと仲間や賛同者を増やすための活動の強化等を重点的に取り組む

### 2. 特定非営利活動に係る活動

#### ◆理念を啓発する活動

事業名		予算	決算	事業計画	実施結果
メイン項目	サブ項目				
目的に沿った各種講演会、講習会、研究会等の開催事業	知恵袋講座の充実	—	—	会員が講師を引き受ける講座を増やします	会員講師の優先に配慮し、自薦、他薦の中からタイムリーなテーマを優先して講座を開催しました 全9回開催 受講者259名(内一般4名)
	住いの情報セミナー開催	540,000	500,000	札幌市住宅管理公社の委託事業を継続実施します	2019/7/23 市民ホール 講師 大橋二三子氏 参加者62名 年4回開催 2019/9/18 市民ホール 講師 柿沼英樹氏 参加者66名 しました 2019/11/15 市民ホール 講師 竹田憲司氏 参加者40名 2020/2/14 市民ホール 講師 篠塚正徳氏 参加者63名
	シニアの暮らしアドバイス講座開催	100,000	124,183	高齢者の暮らしアドバイスを有料で実施します	第1回 6/4～7/9の期間に全6回開催 延106名受講 第2回 10/30～12/6の期間に全6回開催 延53名受講
	市民公開講座開催	—	—	シーズネットの理念の啓発・浸透を目指す講座を開設します	ジャイカ国際協力機構の活動とシニア海外ボランティア活動の報告 2019/11/28 テレビ塔ホール 講師 竹川郁夫氏、永田敏夫氏 51名受 (北海道マラソンチャリティエントリによる寄付により開催) ※第2回目を第4四半期に計画したが新型コロナ問題で中止
	団地サミット開催 (主催北海道住宅管理公社)	330,000	345,564	公的住宅等の孤立防止に向けた講演等を開催します	10/1 エルプラザ大ホールで開催 来場者253名 地域サロン交流、シニア向け体験・相談コーナー開設
	シニア提言の集い開催	—	297,000	シニアの提言を復活し、アクティブシニアの皆さんを応援します	「人生100年時代;健康寿命を延ばそう」をテーマに シニアの提言原稿募集に対し、25名の応募 2020/12/6選考された6名が、札幌エルプラザで発表 聴衆162名 ※道新;社会福祉振興基金の助成にて開催
小計		970,000	1,266,747		

#### ◆仲間づくり・居場所づくり

事業名		予算	決算	事業計画	実施結果
メイン項目	サブ項目				
	サークル数を増やし、代表者の課題に取り組む	(1,300,000)	(736,532)	サークル数増とリーダーの後継者問題に取り組めます	2020/3/31末28サークルで、前年度末より減少している。 代表の後継者問題解決の取り組みは足踏み中

高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業	サークル相談窓口開設	—	—	新規サークル立ち上げの推進に向け相談窓口を開設します	具体的に窓口の開設はないが、担当理事が随時対応している 今年度は3サークルを新規に立ち上げました
	推進会議の定期開催と事務局との連携	—	—	サークル活動の活性化に向け推進会議の開催と事務局との連携を密にする	推進会議は毎月第2木曜日に定例に開催している 担当理事を派遣し、推進会議の運営に寄与している ※2月・3月は新型コロナ問題で会議は中止した
	シーズネット祭り開催	—	—	サークル活動内容を市民に公開し、豊かなシニアの在り方等の周知・啓蒙を図る	2019/9/13エルプラザで開催し、参加者304名中一般市民83名で過去最高の参加者があった。 札幌市と市社協の後援をいただき広く周知ができた(一般市民増)
	サークルの他団体イベントに参加	—	—	他団体と協働して社会貢献に向け意識を醸成します	2019/10/11 団地サミット オープニング出演(合唱団) 2019/11/27 赤い羽根共同募金チャリティ演芸会出演(合唱団) 2019/12/19 老人施設「アルメリア米里」 ボランティア訪問(合唱団)
	地域交流サロンこのはな定期開催	(650,000)	(604,534)	地域交流サロンこのはなの活動の活性化と充実を図ります	サロンをスタートして14年、UR都市機構と共働開催して7年、定着行事と目先を変えた取組等工夫を重ねて継続実施している。 参加者延1,993名(内UR102名)、昨年に引き続きスタッフ不足が継続している。
	もみじ台管理センター運営協力	3,240,000	3,240,000	住民の地域支え合い事業としてのもみじ台管理センター運営に協力します (日興美装工業(株)受託事業)	もみじ台の管理業務契約4年目(最終年度)として受付・図書業務要員2名を継続雇用している。 有効活用事業の三者体制を担うため打合せ会議(月例)に参加している。
	札幌市サロン運営補助事業協力	(100,000)	(—)	サロン立ち上げの技術的アドバイスや申請を支援します (札幌市受託事業)	サロンの設立相談が2カ所からありましたが、申請に至らなかった。
	他サロンとの交流	—	—	他サロンとの交流をはかり活動発表等のイベントを開催する	団地サミットの機会をとらえて他サロンとの交流と活動の発表を実施した。
	保養センター駒岡が開催する文化講座支援	(432,000)	(355,159)	保養センター駒岡で開催する文化講座を支援します (保養センター駒岡委嘱事業)	初心者麻雀講座に講師として会員を毎月水曜日に全40回延120名派遣
小計	3,240,000	3,240,000			

参考資料

1. 会員の組織状況 (資料-1)
2. サークル・グループ活動集計(資料-2)

◆役割づくり

事業名		予算	決算	事業計画	実施結果
メイン項目	サブ項目				
高齢者の福祉向上、居住安定のための相談支援等事業	サービス付き高齢者向け住宅等登録事業	12,354,000	12,085,104	サ高住登録受託事業を継続実施します(北海道・札幌市) 有料老人ホーム届出事業の受託を継続実施します(札幌市)	サ付き登録業務を北海道と札幌市から受託し、有料老人ホーム届出業務は札幌市から受託し、それぞれ円滑に業務を進めている。
	あんしん住まいサポロとの連携	—	—	「あんしん住まいサポロ」の情報誌の発刊・販売に協力します	問い合わせや取り次ぎは日常的に対応し、情報誌の注文は都度対応している。

	札幌市「空き家対策事業」協力	—	—	札幌市の「空き家対策事業」に協力し、関係機関との連携に努めます	能動的な活動はしていない。事象発生都度参画する用意はしている。
高齢者の認知機能低下予防のための研究等事業	脳活塾の開講	900,000	777,858	高齢期の認知機能低下に備える既存講座の充実と拡大を図ります	第1期・第2期・第3期・第4期いずれも3コースで計143回開講し、延412名の受講があった。NHKの取材あり。
	脳活塾の普及	—	—	マスコミや情報誌の協力を得て脳活塾の普及を図ります	北海道新聞、月刊「ケア」等への脳トレ問題提供により「脳活」の認知度が高まっている
	各地の脳活活動に協力	—	—	道内各地の福祉団体等からの出前要請にできる限り協力する	函館、釧路、苫小牧、島牧・積丹など市外からの要請に対応している
異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業	シーズネット版ボランティアポイント制度の普及	—	—	特技や資格等をボランティア活動に役立てる仕組みと市民ボランティアを育成し派遣します	個人84名、合唱団54名、大通花壇243名、森づくり77名、北大ガレージ17名、シニア大学21名、赤い羽根10名、合計506名の活動を実施。
	話し合いたいサポーター派遣事業	250,000	297,502	傾聴ボランティアを継続実施します	2名のボランティアの継続派遣を実施。
	市民ボランティア事業	100,000	58,000	「大通花壇づくり」「森林づくり事業」のボランティアを募り継続実施します 「森と緑の会」の助成金を活用	花壇ボランティアは、34名の応募があり、4班に分かれて毎週木曜日活動しました。 森林ボランティア：野幌森林公園下草狩りは7月に計画したがクマ出没により中止。8月は、札幌水源の森づくりに23名参加 9月に道民の森の「シーズネットの森」で植樹を32名で実施。 12月には、さっぽろ花と緑のネットワークの協力で26名がリースづくり体験
	中国帰国者支援事業	450,000	458,334	中国帰国者の介護予防サロン活動を継続実施します (北海道社会福祉協議会受託事業)	毎月もみじ台地区は第3日曜日、手稲地区は第3水曜日を中心に地域交流、介護予防サロン等を実施。中国帰国者等参加数もみじ台地区延278名、手稲地区延142名 計420名
	ガレージセール実施協力	—	—	北大の留学生のためのガレージセールを引き続き協力します	4/24春季ガレージセールに6名参加、10/9秋季ガレージセールには11名参加して継続的に協力している。
	街頭募金活動の実施	—	—	赤い羽根共同募金の街頭募金活動を引き続き実施します	10/2ヨドバシカメラ店前で、会員10名のボランティアが街頭募金活動を行った
豊かな高齢社会の実現に向けた各種の調査研究事業	シニアの社会参加に向けた調査研究事業	—	—	シニアの社会参加やこれからの暮らしに関する調査研究事業に取り組みます	研究事業の助成金をチェックしているが、現在は該当する助成金が見当たらない。
福祉サービス第三者評価事業	評価活動の推進	570,000	145,000	福祉サービス第三者評価活動を継続実施します	見積書10件提出し、保育園1件について評価業務を受託した
小計		14,624,000	13,821,798		

◆その他目的に沿った事業

事業名		予算	決算	事業計画	実施結果
メイン項目	サブ項目				
	シニア人生の多様なニーズ課題解決	—	—	他のNPO法人や民間団体とも連携し課題解決に取り組みます	団地サミットにおいて、複数のNPO法人と連携して、サロン活動など紹介し問題解決に向け行動した

その他、目的を達成するために必要な事業	他団体との連携・協働	—	—	鉄西地区及び平岸地区町内会等の団体との連携・協働に努めます	鉄西地区町内会、平岸地区町内会に加盟し、当該地区町内会の各種行事・会議に参加している
	地域生活支援推進協議会に参加	—	—	北区社会福祉協議会が進める「地域生活支援推進協議会」に参加し、地域課題の解決に協力します	7/31.本年度第1回協議会に参加した。
	黄色いレシートキャンペーンに協力	(30,000)	(24,700円)	「黄色いレシートキャンペーン」の登録団体としての募金活動を行います	当該キャンペーンの団体として登録するとともに、3か月に1度の声掛け活動に参加し24,700円のギフトカードを受療した。
小計		—	—		
合計		18,834,000	18,328,545		

◆組織活動を活性化する運営計画

メイン項目	サブ項目	予算	決算	事業計画	実施結果
理事長責務事項	積極的な情報開示	—	—	認定NPO法人として活動報告、計算書等をHPで情報公開します	社員総会で承認された活動報告、活動計算書、財務諸表等は適正に情報公開している
	担当分掌による業務遂行	—	—	組織運営体制に基づく担当分掌を決め適正に遂行します	理事の役割分担、運営会議メンバーの分掌を整理して遂行している
	寄付金募金の促進	1,000,000	560893	法人の目的の遂行のため寄付金を募ります	行事開催の協賛団体や、社会貢献団体からの寄附、外部活動による収益からの寄附等が 560,893円ありました
運営会議	毎月、三役、理事、事業担当者で定例開催	—	—	毎月定例開催し、事業活動と収支活動の健全な運営に努めます	業務理事及び事業担当責任者9名を定例メンバーとして、毎月1回開催しました
	決定事項の適切な開示	—	—	決定した事項を通信等で会員に開示します	定例開催した内容を翌月分の通信に、コラムを設けて会員に周知しました
会員支援	推進会議の定例開催	—	—	適正なサークル運営を実践するため毎月定例開催します	毎月第2木曜日に定例開催している
	会員困りごと窓口の開設	—	—	会員の困りごとと解決のため相談支援窓口を開設します	専用電話を設置したが、特に会員へのPRはしていない。今後の課題である。
	会員交流の場の実施	—	—	会員交流の場として「シーズネット祭り」「会員交流会」を実施します	2019/5/29 札幌時計台ホールにて会員交流会を開催 2019/9/13 札幌エルプラザにてシーズネット祭り開催
	会員意見交換会の開催	—	—	各区ごとに会員意見交換会を実施します(3区を目標)	2019/8/28 北区の会員を対象に開催 17名参加 2019/10/4 中央区の会員を対象に開催 21名参加 2019/11/7 東区の会員を対象に開催 15名参加
	団体会員を増やす	—	—	団体会員のメリット等を検討し団体会員の増を図ります	具体的な取り組みは、特になかった。
支部活動支援	支部活動費支援	—	—	函館・旭川支部を支援するため活動費を支給します	H31年3月末日の会員数により各支部にH31年度分の活動費を支給した
	支援部代表者会議の実施	—	—	支部活動の在り方等の意見交換の機会を設けます	2019/11/12 シーズネット研修室にて支部代表者会議を開催した 旭川支部1名、函館支部2名参加

広報活動	活動紹介リーフレット・ビデオ作成	—	—	リーフレット・ビデオを新規に作成し啓発活動に活かすとともに新入会員オリエンテーションを充実します	・活動紹介ビデオを作成し、総会及びシーズネット祭りでお披露目を行い、啓発活動に活かしている ・リーフレットは、継続して検討している
	シーズネット通信の継続発行	—	—	シーズネット通信を毎月発行し会員へ送付する他、公共施設の掲示ラックの活用や広報活動団体への送付を継続します	・通信の毎月発行は継続実施している ・会員のほかマスコミ等関係機関に送付している ・ちえりあ、市民交流プラザ、道市民活動促進センター(かでの2.7)の広報ラックの活用を継続実施している
	ホームページの維持・改善	—	—	ホームページを活用してシーズネットの活動を広く周知する。またリニューアルを検討します	・総会で承認された、活動報告、活動計算書、財務諸表等は継続してホームページに公開している ・リニューアルについて継続して検討する
事務局体制	事務局管理体制の強化	—	—	規定を適正に運用し、認定NPO法人として適切な事務処理を図ります	・認定NPO法人としての文書管理、定期報告等の励行を厳守している ・規則類の適切な見直しと適正な公開を実施している
	会員の入退会情報の管理	—	—	入退会情報を把握する会員管理の在り方を検討します	正会員の課題の整理解決と並行して継続して検討する
	事務局体制の充実	—	—	事務局業務を担うボランティアを募集し体制の充実を図ります	継続して募集を継続し充実を図る
	認定NPO法人の継続認証	—	—	認定NPO法人の継続認証に向け事務作業を進めます	札幌市条例指定及び認定NPO法人の更新認証を完了しました

### 3. その他の事業

本年度は実施しておりません

## 1. 会員の組織状況(令和2年3月31日)

(資料-1)

## (1) 会員数

区 分		令和1年度末	平成30年度末	新規加入	退 会
会 員 総 数		945 名	1,014 名	179名	248名
正会員	個人	922名	989名	178名	245名
	団体	15団体	18団体	0名	3名
賛助会員	個人	8名	7名	1名	0名
	団体	0名	0名	0名	0名

## (2) 男女別会員数及び平均年齢

区 分	令和1年度末	平成30年度末	新規加入	退 会
男 性	269名	287名	44名	62名
女 性	653名	702名	134名	183名
平均年齢	75.4歳	75.1歳	—	—

## (3) 地域別会員数

区 分	令和1年度末	平成30年度末	新規加入	脱 会
札 幌	663名	785名	83名	205名
旭 川	184名	124名	67名	7名
函 館	53名	58名	19名	24名
その他地区	22名	22名	9名	9名

## 2. 役員名簿(令和2年3月31日現在)

役 職	氏 名	住 所
理 事 長	奥 田 龍 人	
統括副理事長	千 秋 憲 博	
副理事長 事務局長	山 根 勝 利	
理 事	青 木 基 成	
理 事	笠 谷 明 司	
理 事	西 原 桂 子	
理 事	吉 田 綾 子	
理 事	大 島 康 雄	
理 事	山 本 純 子	
理 事	宮 村 善 英	
理 事	川 尻 明	
理 事	渡 邊 一 栄	
監 事	篠 塚 正 徳	
監 事	小 野 忍	



## サークル・グループ活動集計表

No	サークル名	合 計			
		31年 元年度		30年度	
		延回数	延人数	延回数	延人数
1	歩こう会	10	192	9	229
2	絵手紙教室	11	46	11	54
3	男の料理教室	11	161	11	191
4	お抹茶を楽しむ会	9	94	11	92
5	歌謡サークル	11	334	12	358
6	グランド・ゴルフクラブ	14	141	3	25
7	五行歌	11	115	12	132
8	ゴルフを楽しむ会	8	114	9	138
9	酒と語り場	11	193	11	166
10	茶話会	10	185		
11	シーズネット合唱団	19	938	24	1210
12	初級川柳教室	11	46	12	44
13	シングルの会	11	204	14	353
14	ステップ&ステップ	21	527	25	522
15	スポーツダンスライラック	4	12	16	90
16	たそがれ勉強会	20	138	23	193
17	楽しいお花	11	82	11	66
18	楽しいシニア人生	9	204	10	269
19	楽しいリコーダー入門	22	276	24	314
20	短歌勉強会	11	70	12	64
21	ノルディック・ウォーキング	11	208	8	139
22	ハーモニカ・オカリナ同好会	20	296	17	274
23	パソコン勉強会	12	48	12	57
24	陽だまりの会	11	192	12	231
25	百聞会	10	221	12	319
26	ひよっこ舞踊	3	11	24	141
27	ボウリングサークル	11	139	1	27
28	民謡を楽しむ会	11	54	12	93
29	洋楽を歌う会	1	11		
30	旅行サークル	7	128	5	67
31	わくわく同好会	9	165	4	39
32	呼びかけ	0	0	3	8
33	囲碁を楽しむ会			29	191
34	自然と健康を考える会			7	128
35	実用ふでの会			38	320
36	シニアの英会話			22	207
37	たべものクラブ			1	26
38	豊友会			21	212
39	南京玉すだれ			10	28
40	マージャンクラブ			39	1545
41	麻雀初級			25	987
42	麻雀入門			86	3417
	合 計	351	5,545	648	12,966

## 平成31（令和1）年度決算報告

(第2号議案-1)

## 貸借対照表

(令和2年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	8,455,437		
未収金	3,012,548		
仮払金	117,820		
貯蔵品	0		
流動資産合計		11,585,805	
2. 固定資産			
什器備品	56,705		
電話加入権	15,000		
出資金	30,000		
固定資産合計		101,705	
資産合計			11,687,510
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	1,442,338		
未払消費税等	481,900		
預り金	29,832		
前受金	12,500		
流動負債合計		1,966,570	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,966,570
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		9,436,857	
当期正味財産増減額		284,083	
正味財産合計			9,720,940
負債及び正味財産合計			11,687,510

その他の事業は実施していません

# 平成31（令和1）年度決算報告

NPO法人シーズネット  
(第2号議案-2)

## 財 産 目 録

(令和2年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金		8,455,437	
自主運営事業手持ち現金	651,089		
助成受注事業手持ち現金	73,042		
北海道銀行札幌駅前支店	4,565,606		
北洋銀行北7条支店	830,115		
ゆうちょ銀行	2,335,585		
未収金		3,012,548	
北海道建築指導課(サ付登録)	457,843		
札幌市(サ付登録・有老届出)	2,045,175		
日興美装工業㈱	297,000		
札幌市介護支援専門員連絡協議会他	212,530		
仮払金		117,820	
会議会場費(札幌市民ホール)	16,200		
サークル傷害等保険料	101,620		
流動資産合計		11,585,805	
2. 固定資産			
什器備品	56,705		
電話加入権	15,000		
出資金	30,000		
固定資産合計		101,705	
資産合計			11,687,510
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金		1,442,338	
サークル傷害等保険料	53,640		
3月分給与等 4/15払	1,055,837		
各種費用未払額(消耗品、通信費他)	154,301		
事務局活動費	178,560		
未払消費税等	481,900	481,900	
預り金		29,832	
源泉税・住民税預り金	29,832		
前受金		12,500	
受講料翌年度分前受	12,500		
流動負債合計		1,966,570	
2. 固定負債		0	
負債合計	0		1,966,570
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		9,436,857	
当期正味財産増減額		284,083	
正味財産合計			9,720,940

その他の事業は実施していません

## 平成31（令和1）年度決算報告

（第2号議案-3）

活動計算書  
（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

（単位:円）

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 会員会費収入	2,776,000		
2. 活動参加収入	2,074,704		
3. 寄付金収入	560,893		
4. 助成事業収入	5,519,504		
5. 自主受注事業収入	13,206,607		
6. 雑収入	1,502,127		
経常収益計			25,639,835
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費		17,346,928	
(1) 人件費		10,878,359	
人件費計	10,878,359		
(2) その他経費		6,468,569	
厚生費	959,960		
賃借料(家賃を含む)	1,086,550		
消耗品費	401,418		
水道光熱費	192,538		
旅費交通費	1,006,291		
租税公課	81,100		
諸謝金	884,929		
通信費	353,402		
印刷費/広告	58,804		
委託費/支払報酬	565,569		
その他の経費	878,008		
2. 管理費		8,008,824	
(1) 人件費		0	
人件費計	0		
(2) その他経費		8,008,824	
賃借料(家賃を含む)	1,591,909		
消耗品費	813,030		
水道光熱費	349,095		
旅費交通費	2,222,411		
租税公課	410,621		
保険料	161,140		
通信費	1,227,559		
委託費/支払報酬	305,936		
その他の経費	927,123		
経常費用計			25,355,752
当期正味財産増減額			284,083
前期繰越正味財産額			9,436,857
次期繰越正味財産額			9,720,940

※その他の事業は実施しておりません。

## 財務諸表の注記

(第2号議案-4)

## 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。

## (1) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっています。

## (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

## 2. 事業別経常費用の内訳

(単位：円)

	シーズ ネット 合 計	①管理部門	②事業部門	事業部門の内訳		
				③自主運営	④受注受託	⑤諸 口
経常費用	25,355,752	8,008,824	17,346,928	2,688,990	14,526,598	131,340
人件費	10,878,359	0	10,878,359	16,614	10,861,745	0
給料手当	9,485,736	0	9,485,736	0	9,485,736	0
法定福利費	1,392,623	0	1,392,623	16,614	1,376,009	0
その他経費	14,477,393	8,008,824	6,468,569	2,672,376	3,664,853	131,340
会場費	306,842	63,062	243,780	146,325	97,455	0
会議費	59,009	8,785	50,224	10,899	39,325	0
厚生費	959,960	0	959,960	96,726	863,234	0
賃借料	1,601,714	988,618	613,096	176,427	436,669	0
消耗品費	1,214,448	813,030	401,418	360,583	40,835	0
水道光熱費	541,633	349,095	192,538	27,360	165,178	0
旅費交通費/運搬	3,228,702	2,222,411	1,006,291	844,613	161,678	0
手数料	309,927	149,694	160,233	200	158,833	1,200
租税公課	491,721	410,621	81,100	0	8,000	73,100
諸謝金	1,063,957	179,028	884,929	120,137	764,792	0
保険料	177,832	161,140	16,692	14,592	2,100	0
通信費	1,580,961	1,227,559	353,402	102,004	251,398	0
諸会費	94,100	67,600	26,500	26,500	0	0
新聞図書費	61,213	34,689	26,524	26,524	0	0
印刷費/宣伝費	205,505	146,701	58,804	31,983	26,821	0
支払報酬	618,305	108,898	509,407	153,793	355,614	0
支払家賃	1,076,745	603,291	473,454	253,242	220,212	0
備品購入費	49,000	0	49,000	49,000	0	0
修繕費	0	0	0		0	0
委託費	253,200	197,038	56,162	0	56,162	0
雑費	525,579	277,564	248,015	231,468	16,547	0
償却費	57,040	0	57,040	0	0	57,040

## 3. 使途等が制約された寄付等の内訳

当法人の正味財産は9,720,940円ですが、そのうち指定されているものは有りません。

## 4. その他

その他の事業は実施しておりません

# 監査報告書

(第3号議案)

令和2年4月25日

特定非営利活動法人 シーズネット

理事長 奥田龍人様

監事 藤塚正徳 印

監事 印

特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、令和1年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日)の特定非営利活動法人シーズネットの業務及び財産の状況と事業報告書及び計算書類(財産目録、貸借対照表及び活動計算書)について監査を実施いたしました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人シーズネットの令和2年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

## 令和2年度事業計画書(案)

### 1. 理念・方針

理念	高齢者自身の主体的かつ創造的な生き方を目指すための活動として「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」「支え合い」をキーワードにした事業を行い、豊かな高齢社会の推進に寄与する
方針	認定NPO法人としてレベルアップを図り、会の存在意義であるシニアがはつらつと活動するための新しい取り組みへのチャレンジと仲間や賛同者を増やすための活動強化等を重点的に取り組む

### 2. 特定非営利活動に係る活動

#### ◆理念を啓発する活動

事業名		予算(収入)	事業内容
メイン項目	サブ項目		
目的に沿った各種講演会、講習会、研究会等の開催事業	知恵袋講座の充実	—	会員が講師を引き受ける講座をさらに増やします
	住いの情報セミナー開催	500,000	住いのセミナー(札幌市住宅管理公社受託事業)を引き続き開催します
	シニアの暮らしアドバイス講座開催	100,000	講座をシリーズで行い、介護保険、住まいなどの勉強会を開催します。
	市民公開講座開催	—	シーズネットの理念の啓発・浸透を目指す講座を1~2回程度開設します
	団地サミット開催 (北海道住宅管理公社主催)	270,000	公的住宅等の共通の課題である孤立防止に向けての講演、シンポジウムを開催します
	シニア提言の集い開催	—	アクティブシニアの皆さんがお互いに刺激し合って活力ある生活を創造するお手伝いする活動を継続する
小計		870,000	

#### ◆仲間づくり・居場所づくり

事業名		予算(収入)	事業内容
メイン項目	サブ項目		
高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業	サークルの取組の改善及び後継者問題に取り組む	(1,000,000)	サークルの数を増やすよう働きかけます。また、サークルの代表の後継者の課題に取り組めます
	サークル立ち上げ相談に対応します	—	新規サークル立ち上げに向けて事務局が積極的に対応します
	推進会議の定期開催と事務局との連携	—	サークル活動の活性化に向け推進会議の開催と事務局との連携を密にします
	シーズネット祭り開催	—	サークル活動内容を市民に公開し、豊かなシニアの在り方等の周知・啓蒙を図ります
	サークルが他団体イベントに参加推進	—	サークルが他団体のイベントに参加する等社会貢献に向け意識を醸成します
	地域交流サロンこのはなの活動の充実	(600,000)	地域交流サロンこのはなの活動の活性化を図り、地域コミュニティとしての役割を担います
	もみじ台管理センター運営協力	3,240,000	住民の地域支え合い事業としてのもみじ台管理センター運営に協力します (日興美装工業(株)受託事業)
	札幌市サロン運営補助事業協力	(100,000)	サロン立ち上げの技術的アドバイスや申請を支援します (札幌市受託事業)
	他サロンと協働で活動をアピールする	—	他サロンとの交流を深め、協働して活動を発表する場を創ります(団地サミット等を活用)
札幌市保養センター駒岡の文化講座支援	350,000	保養センター駒岡で開催する文化講座の支援として、初心者麻雀講座に指導者を派遣して協力します (保養センター駒岡委嘱事業)	
小計		3,590,000	

◆役割づくり

事業名		予算(収入)	事業内容
メイン項目	サブ項目		
高齢者の福祉向上、居住安定のための相談支援等事業	北海道及び札幌市の高齢者向け住宅に関する登録等業務を受託	11,915,000	①サービス付き高齢者向け住宅の登録事業受託(北海道・札幌市) ②有料老人ホーム届出受理事業(札幌市) ※作業体制を整備し、堅実に運営します
	あんしん住まいサッポロとの連携	—	姉妹法人である「あんしん住まいサッポロ」と連携して情報誌の発刊・販売の活動に協力します
	札幌市「空き家対策事業」協力	—	札幌市の「空き家対策事業」に協力し、関係機関との連携に努めます
高齢者の認知機能低下予防のための研究等事業	脳活塾の開講	800,000	高齢期の認知機能低下に備える既存講座の充実と拡大を図ります
	脳活塾の普及	—	マスコミや情報誌の協力を得て脳活塾の普及を図ります
	各地の脳活活動に協力	—	道内各地の福祉団体等からの出前要請にできる限り協力します
異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業	シーズネット版ボランティアポイント制度の普及	—	①特技や資格等をボランティア活動に役立てる仕組みと市民ボランティアを育成し派遣します ②会員の特技や資格を把握してボランティア活動などに役立てる仕組みを作ります
	話し合いたいサポーター派遣事業	300,000	高齢者向け住宅や施設などへの傾聴ボランティアの派遣を継続して実施します
	市民ボランティア事業	80,000	「大通花壇づくり」や「森林づくり事業」などに取り組む会員を募り、環境整備のボランティア事業を継続実施します 「森と緑の会」の助成金を活用
	中国帰国者支援事業	450,000	北海道社会福祉協議会から受託している「北海道中国帰国者支援事業」を継続実施します
	ガレージセール実施協力	—	北大の留学生のためのガレージセールを引き続き協力します
	街頭募金活動の実施	—	赤い羽根共同募金の街頭募金活動を引き続き実施します
豊かな高齢社会の実現に向けた各種の調査研究事業	シニアの社会参加に向けた調査研究事業	—	シニアの社会参加やこれからの暮らしに関する調査研究事業に取り組みます
福祉サービス第三者評価事業	評価活動の推進	650,000	福祉サービス第三者評価活動を継続実施します
小計		14,195,000	

◆その他目的に沿った事業

事業名		予算(収入)	事業内容
メイン項目	サブ項目		
その他、目的を達成するために必要な事業	シニア人生の多様なニーズの課題解決	—	シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO法人や民間団体とも連携し課題解決に取り組めます
	他団体との連携・協働	—	鉄西地区町内会、平岸地区町内会等の団体との連携・協働に努めます
	地域生活支援推進協議会に参加	—	北区社会福祉協議会が進める「地域生活支援推進協議会」に参加し、地域課題の解決に協力します
	黄色いレシートキャンペーンに協力	(30,000)	「黄色いレシートキャンペーン」に登録し、ボランティア団体としての寄付を募ります
小計		—	
合計		18,655,000	



◆組織活動を活性化する運営計画

メイン項目	サブ項目	予算(収入)	事業内容
理事長責務事項	積極的な情報開示	—	認定NPO法人として活動報告、計算書等をホームページ等で積極的に情報公開に努めます
	担当分掌による業務遂行	—	組織運営体制に基づく担当分掌を決め適正に遂行します
	寄付金募金の促進	—	・社会貢献活動の積極的な実施とそのアピールを行います ・賛助会員、特に法人会員を積極的に募ります
運営会議	毎月、三役、理事、事業担当者で定例開催	—	毎月定例開催し、事業活動と収支活動の健全な運営に努めます
	決定事項の適切な開示	—	決定した事項を通信等で会員に開示します
会員支援	推進会議の定例開催	—	適正なサークル運営を実践するため毎月定例開催します
	会員困りごと窓口の開設	—	会員の困りごと解決のため相談支援窓口を開設します
	会員交流の場の実施	—	今年度の「シーズネット祭り」「会員交流会を」は中止します
支部活動支援	支部活動費支援	—	函館・旭川支部を支援するため活動費を支給します
	支援部代表者会議の実施	—	支部活動の在り方等の意見交換の機会を設けます
広報活動	活動紹介リーフレット・ビデオ作成	—	リーフレット・ビデオを新規に作成し啓発活動に活かすとともに新入会員オリエンテーションを充実します
	シーズネット通信の継続発行	—	シーズネット通信を毎月発行し会員へ送付する他、公共施設の掲示ラックの活用や広報活動団体への送付を継続します
	ホームページの維持・改善	—	ホームページを活用してシーズネットの活動を広く周知する。またリニューアルを検討します
事務局体制	事務局管理体制の強化	—	規定を適正に運用し、認定NPO法人として適切な事務処理を図ります
	会員の入退会情報の管理	—	入退会情報を把握する会員管理の在り方を検討します
	事務局体制の充実	—	事務局業務を担うボランティアを募集し体制の充実を図ります
	認定NPO法人の継続認証	—	条例指定によらない継続認証に向け事務作業の整備を図ります

3. その他の事業

	物品の斡旋及び販売	—	今年度は特に計画しておりません
	役務の提供	—	今年度は特に計画しておりません

## 令和2年度活動予算書（案）

（第5号議案）

（令和2年年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位:円）

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 会員会費収入	2,916,000		
2. 活動参加収入	2,300,000		
3. 寄付金収入	700,000		
4. 助成事業収入	5,417,000		
5. 自主受注事業収入	13,238,000		
6. 雑収入	1,565,000		
経常収益計			26,136,000
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費		18,490,000	
(1) 人件費		11,430,000	
人件費計	11,430,000		
(2) その他経費		7,060,000	
厚生費	991,000		
賃借料(家賃を含む)	1,265,000		
消耗品費	431,000		
水道光熱費	210,000		
旅費交通費	1,125,000		
租税公課	75,000		
諸謝金	1,220,000		
通信費	405,000		
印刷費	65,000		
委託費	570,000		
その他の経費	703,000		
2. 管理費		7,615,000	
(1) 人件費		0	
人件費計		0	
(2) その他経費		7,615,000	
賃借料(家賃を含む)	1,600,000		
消耗品費	820,000		
水道光熱費	350,000		
旅費交通費	2,300,000		
租税公課	250,000		
保険料	150,000		
通信費	1,200,000		
委託費	310,000		
その他の経費	635,000		
経常費用計			26,105,000
当期正味財産増減額			31,000
前期繰越正味財産額			9,436,857
次期繰越正味財産額			9,467,857

## シーズネット定款変更(案)

現行の定款規定	新しい定款規定(案)	解説
<p style="text-align: center;">第4章 社員総会</p> <p><b>第28条(表決等)</b> 各正会員の表決権は、平等なるものとする。</p> <p>2 やむを得ない理由のため社員総会に出席できない正会員は、他の出席正会員を代理人として表決を委任することができる。</p> <p>3 前項の場合において、表決の委任者は、社員総会に出席したものとみなす。</p> <p>4 略</p> <p style="text-align: center;">第5章 理事会</p> <p><b>第36条(表決等)</b> 各理事の表決権は、平等なるものとする。</p> <p>2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、他の出席理事を代理人として表決を委任することができる。</p> <p>3 前項の場合において、表決の委任者は、理事会に出席したものとみなす。</p> <p>4 略</p>	<p style="text-align: center;">第4章 社員総会</p> <p><b>第28条(表決等)</b> 各正会員の表決権は、平等なるものとする。</p> <p>2 やむを得ない理由のため社員総会に出席できない正会員は、<u>あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し</u>、又は他の出席正会員を代理人として表決を委任することができる。</p> <p>3 前項の場合において、表決した<u>正会員</u>は、社員総会に出席したものとみなす。</p> <p>4 略</p> <p style="text-align: center;">第5章 理事会</p> <p><b>第36条(表決等)</b> 各理事の表決権は、平等なるものとする。</p> <p>2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、<u>あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し</u>、又は他の出席理事を代理人として表決を委任することができる。</p> <p>3 前項の場合において、表決した<u>理事</u>は、理事会に出席したものとみなす。</p> <p>4 略</p>	<p>社員総会に出席できない場合の表決方法に書面表決を追加した</p> <p>理事会に出席できない場合の表決方法に書面表決を追加した</p>